

モーツァルトの時代と現代とでは「ピアノ」といっても、
全く異なる構造、音を持ちます。
とすると、音楽の「言葉遣い」は、当時と現代の楽器ではかなり異なるはずですし、
楽譜の読み方も当然変わってくるに違いありません。

私がフォルテピアノを所有するようになったのは、そのような興味からでした。
今回のコンサートでは、私が自宅で親しんでいるモーツァルト時代の

フォルテピアノ(シュタイン1790年のレプリカ)を使用します。

オーケストラも時代を考証した楽器、奏法にて演奏いたします。

当時の楽器で再度光をあてたモーツァルトの作品たちが、
新しいみなとみらいホールで、どのように響くのか。とても楽しみにしています。

仲道 郁代



使用ピアノ:シュタイン
J.Aシュタインモデル
1790年頃の楽器を複製
鍵盤61鍵/ツッカーマン社製
山本宣夫改造 仲道郁代蔵

モーツァルトの時代の音で聴く これぞまさしく、モーツァルトの真髄!

仲道郁代(ピアノ)

桐朋学園大学1年在学中に第51回日本音楽コンクール第1位、増沢賞を受賞。ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、メンデルスゾーン・コンクール第1位、エリザベト王妃国際音楽コンクール入賞。

これまでに、マゼール指揮ピッツバーク交響楽団、バイエルン放送交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ズッカーマン指揮イギリス室内管弦楽団(ECO)、フリーベック・デ・ブルゴス指揮ベルリン放送交響楽団、Pヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団など海外オーケストラとも多数共演。

2005年にはウインザー城にてイギリス室内管弦楽団主催のチャールズ皇太子夫妻臨席の「結婚祝祭コンサート」に出演。

CDはソニー・ミュージックレーベルズと専属契約を結び、レコード・アカデミー賞受賞CDを含む「仲道郁代ベートーヴェン集成～ピアノ・ソナタ&協奏曲全集」他、「モーツァルト:ピアノ・ソナタ全集」「シューマン:ファンタジー」「ドビュッシーの見たもの」等をリリース。著書に「ピアニストはおもしろい」(春秋社)等がある。

2018年よりベートーヴェン没後200周年の2027年に向けて「仲道郁代The Road to 2027プロジェクト」をスタートし、リサイタルシリーズを展開中。また横浜みなとみらいホールでは2020年から2027年にかけてベートーヴェン:ピアノ・ソナタ全曲演奏会シリーズを展開している。

一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。令和3年度文化庁長官表彰、ならびに文化庁芸術祭「大賞」を受賞。

オフィシャル・ホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com>

クラシカル・プレイヤーズ by BCJ

世界的古楽オーケストラ、バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーを中心に、古楽器演奏の精鋭たち29名を選びすぐり今回のために結成された特別編成オーケストラ。

子供文化芸術活動支援事業対象公演

本事業は、新型コロナウイルス感染症の影響下において、鑑賞・体験の機会が失われている多くの子供たちに、本格的な公演に触れる機会を提供するため文化庁の支援を受けて行われる取り組みです。

◎18歳以下無料(限定202席)

◎対象:公演当日、小学校1年生～18歳以下

◎申込方法等詳細は神奈川芸術協会ホームページの当公演ページにて、9月以降公開いたします。